

兵庫県立むこがわ特別支援学校 キャリア教育全体計画

学校経営理念（校訓）

自分らしく学ぶ	自分らしく輝き	自分らしく翔く
どの子も一人ひとりの課題を明確にしながら、学校生活全体を通して学びを深めていく。「自分らしく」生きるために必要な力を育み自己実現に向けて努力する意欲を培い、「自分らしく学ぶ」姿勢を確立する。	どの子も必ず、「自分らしさ」がある。仲間との活動の中で、お互いの「自分らしさ」を認め合い、つながりを深めていく。自分の良いところ、得意なことを存分に発揮し「自分らしさ」を仲間とともに輝かせる。	どの子も、卒業後に共生社会に翔き、「自分らしく働く」を通して、地域社会で、家族の中で、自分の役割を果たしながら“自分らしい生き方”を実現していく。聴覚障害部門では、本校での学びと輝きを土台として、それぞれの進路先へと翔く。未来へ凜として翔く。

めざす幼児児童生徒像

・自ら進んで主体的に学ぶ幼児児童生徒 ・心豊かで、輝きのある幼児児童生徒 ・周りの人と仲良く協力できる幼児児童生徒

めざす教師像

(1) 教育活動全体への高い情熱 (2) 高度な専門性と協働性による支援 (3) 一人ひとりの未来の姿を描ける情熱（長所を見る目） (4) 一人ひとりの課題解決に向けて取組む姿勢（課題に寄り添う心）
--

学校教育目標

幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な学びを支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズに基づき、能力と可能性を最大限に伸ばす適切な指導と支援を行うことにより、共生社会を「自分らしく」生き抜く力を育成する。

めざす学校像

・一人ひとりの学びを大切にする学校 ・一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばす学校

キャリア教育の基本方針

1 幼児児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。 2 各教科領域等及び特別活動、総合的な学習の時間を通して、一人ひとりのキャリア形成と自己実現に向けて学校教育全体で計画し、実施する。 3 一人ひとりの教育的ニーズを捉え、個別の教育支援計画および個別の指導計画を作成し、PDCAサイクルに基づいた教育活動を展開する。 4 一人ひとりが共生社会の中で、「自分らしく学び、自分らしく輝き、自分らしく翔く」ことができる力を育成する。
--

領 域	ステップ1	ステップ2	ステップ3
人間関係形成 社会形成能力	あいさつ・丁寧な言葉遣いの習慣化 集団活動に意欲的に参加 スムーズに支援を受ける	自主的に丁寧な言葉で挨拶 集団活動での役割認識・他者理解 自ら支援を求めることができる	TPOに応じたあいさつ・言葉遣いができる 他者を尊重や集団内での役割遂行ができる 必要に応じて支援を求めることができる
自己理解能力 自己管理能力	自分や他人の良さの気づき 家庭や学校における基本的習慣作り 自分の気持ちを把握し、心を落ち着かせる 目標をもち、意欲的に活動できる	達成感に基づく自己理解ができる 社会における基本的生活習慣作り 課題解決のための選択肢の活用・模索できる 将来への夢や職業への憧れを持つ	自他の個性の尊重ができる 公共の場で必要なマナーが身についている 課題解決のための自己調整ができる 進路希望を具体化し、新しい生活への目標を持つ
課題対応能力	身の回りの様々な情報への関心 遊びや活動の振り返り 家庭や学校のルール等の知識を習得	社会的な様々な情報収集とその活用 間違いや失敗の原因の理解 各生活場面での社会のルール等を体得	職業・社会生活に必要な情報収集と活用 活動の反省を次の活動に生かすことができる 集団でのルール遵守・危険を予測し行動できる
キャリア プランニング能力	学校での日課、スケジュールに合わせて生活 職業や働くことへの興味関心を持つ お金を渡して買い物ができる 人に感謝される喜びを感じる	家庭・学校での一週間のスケジュールに合わせて生活 主体的な自己の役割や責任を遂行する 値段に応じたお金が出せる 人の役に立つ喜びを感じる	目標に向けた計画に伴うスケジュールに合わせて生活 分業や協業の仕組みと役割を理解する 持っているお金で買えるものがわかる 社会の役に立つ喜びを感じる

